

小林ゼミ活動報告①

第12回

子どもまち・いえワークショップ提案コンペ
受賞報告

小林ゼミ 3年 岡本茉夏 高嶋瑞 原口ひかる

私たちが参加したのは・・・

第12回

子どものまち・いえ ワークショップ提案コンペ

第12回

子どものまち・いえ ワークショップ提案コンペ

次世代を担う子どもたちが建築を学ぶ機会をつくりたい。このような思いから、わたしたち日本建築学会子ども教育事業部会では、1991年からワークショップ「親と子の都市と建築講座」を継続的に開催し、今年で32年目となりました。当初は大学の先生や地域の専門家などがワークショップを企画運営していましたが、近年では、学生の関心や思いから生まれるアイデアに可能性を見出し、学生が企画を提案する「子どものまち・いえワークショップ提案コンペ」を開催しています。本コンペの最優秀賞企画は、ワークショップ「親と子の都市と建築講座」として実現します。企画運営の主体は、最優秀賞に選ばれた学生の方々です。そのため、企画運営の実現可能性が限られます。コロナウィルス感染拡大防止への配慮をはじめ、社会状況の変化に対応できる実現可能な提案をお待ちしています。



応募フォームから、応募者情報を入力し、プレゼンシートをアップロードしてください。プレゼンシートは、A3判1枚（横使い）で、書式は自由です。くわしくは裏面をご参照ください。
<https://forms.gle/JcirR5ok8nf5CP7e6>

応募締切
6/30
フォーム受付

公開審査会
7/15
対面開催
【オンライン参加可】

主催：日本建築学会

コンテスト概要

次世代を担う子どもたちが建築を学ぶ機会をつくりたいという思いから始まった。

当初は大学の先生や地域の専門家などがワークショップを企画・運営していたが、近年では、学生の感性から生まれるアイデアに可能性を見出し、学生が企画を提案するものになった。

- ・ 学生団体が応募対象
- ・ テーマは特に絞らないが、「まち・いえ」（住環境）に関わる企画とする
- ・ 最優秀賞の企画は実現する
- ・ 応募総数 39 チーム！

小林ゼミからは2組入賞しました！





て くてくかるた♪ まちに潜む小さな音を見つけよう♪

コンセプト：音を見つけるまちあるきカルタを通して、自分のまちを楽しむ気づきを得る！
その気づき中で、探究心、想像力、表現力を身につけよう！

— 企画概要 —



STEP1
**まちの中に潜むいろいろな音を
探しにまちあるき出発！**

- ・ 1チーム3家族+学生1名で構成 合計4チーム
- ・ 音は学生がスマホで録音、最低8音見つける
- ・ 子どもたちはマップ上に音を発見した場所と状況をメモする
- ・ 一番多く音を集めてきたチームが音集め部門優勝



STEP2
自分たちが集めた音の絵札作り！

- ・ 親子で絵札をつくる (1人2枚以上)
- ・ 1チーム8枚絵札を用意



※絵札イメージ写真



※当日の流れイメージ

STEP3
チーム対抗かるた大会！

- ①自分が描いた絵札を紹介しながら並べる
※絵札が被った場合もそのまま聞き分けてもらう
- ②学生が流した音をよく聞いて、その音を表す絵札をとる
(1枚につき1ポイント)

- ・ スペシャルカード(学生が事前に用意した絵札)を1試合3枚
(1枚につき2ポイント)
- ・ 総当たり戦で一番ポイントが高いチームがかるた部門優勝
- ・ 部門ごとの優勝チームに景品あり (参加賞もあり)

—実施予定日時—
11月25日土曜日

—実施場所—
まちあるき：〇〇校区
かるた大会：〇〇大学

—準備物—
机、いす、プロジェクター
マイク、スマホ、名札、マップ
スケッチブック、バインダー
えんぴつ、画用紙、色鉛筆
クレヨン、カラーペン、参加賞
優勝賞品

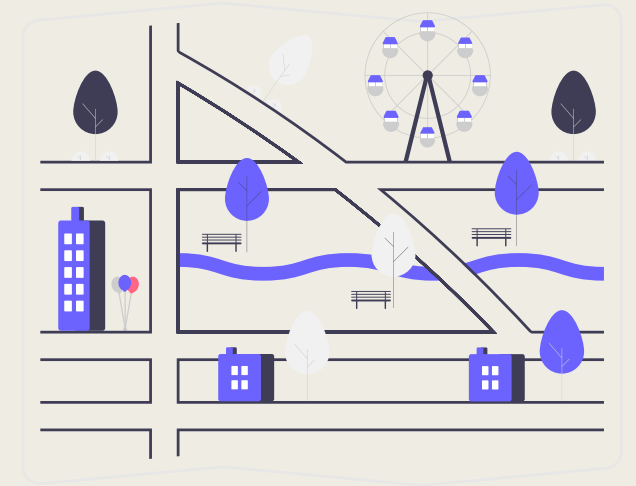
—予算—
参加賞、優勝賞品代：3,000円
備品代：5,000円
印刷代：3,000円
会場代：10,000円

—当日スケジュール—
9:00～説明タイム①
9:10～まちあるき1時間
10:10～説明タイム②
10:20～絵札づくり1時間
11:20～説明タイム③
11:30～かるた大会20分×3試合
12:30～表彰感想30分
13:00 解散

◆STEP1

まちの中に潜むいろいろな音を探しにまちあるきへ出発！

- 1チーム3家族+学生1名で構成 合計4チーム
- 音は学生がスマホで録音、最低8音見つける
- 子どもたちはマップ上に音を発見した場所と状況をメモする
- 1番多く音を集めてきたチームが音集め部門優勝



音を録音♪



◆STEP2

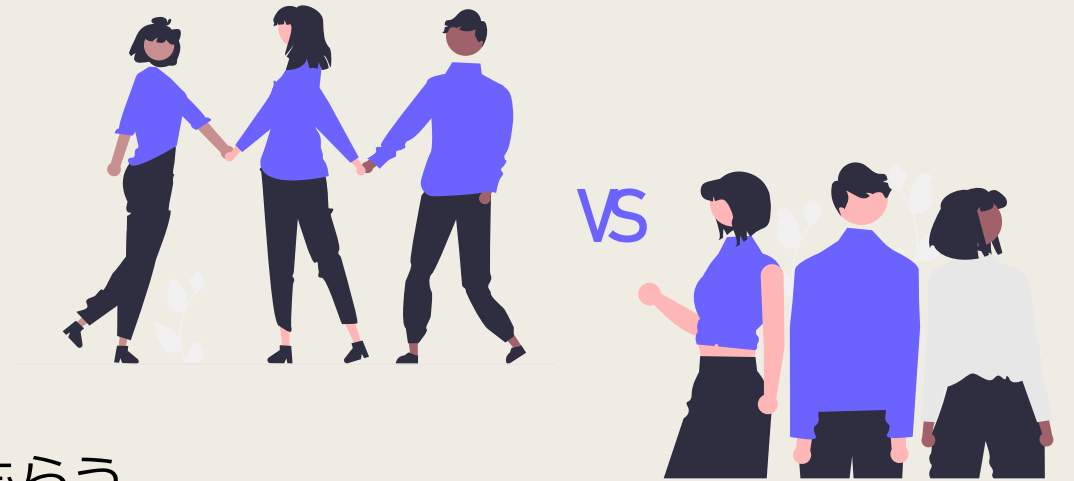
自分たちが集めた音の絵札作り！

- ・親子で絵札を作る（1人2枚以上）
- ・1チーム8枚絵札を用意



◆STEP3

チーム対抗かるた大会！



①自分が描いた絵札を紹介しながら並べる

※絵札がかぶった場合もそのまま聞き分けてもらう

②学生が流した音をよく聞いて、その音を表す絵札をとる

(1枚につき1ポイント)

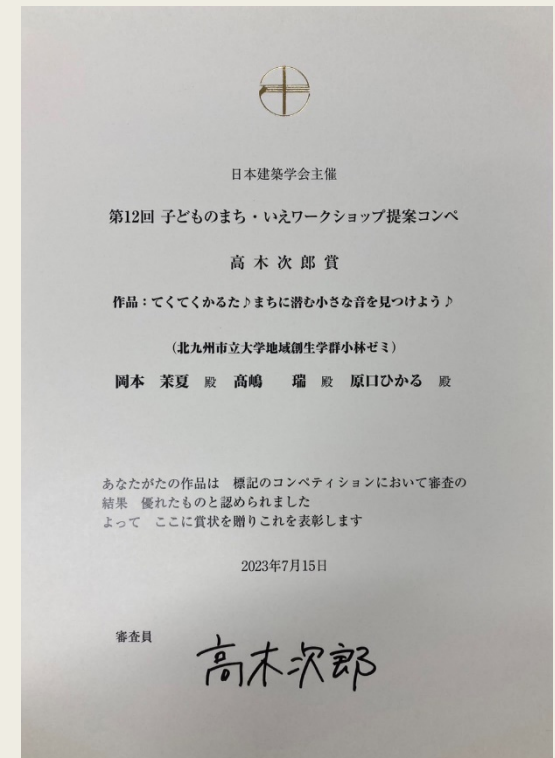
- ・スペシャルカード（学生が事前に用意した絵札）を
1試合3枚（1枚につき2ポイント）
- ・総当たり戦で1番ポイントが高いチームがかるた部門優勝
- ・部門ごとの優勝チームに景品あり（参加賞もあり）



「高木次郎賞 受賞！」

高木次郎さん（東京都立大学 教授）

建築構造が専門で、大学では材料を限定せずに建物の性能を幅広く探究する。構造設計の経験があり、建築構造全般に明るい。



1、企画名

○「新しいピクトグラムをつくろう！」

2、コンセプト

- だれもが住みやすいまちを創るために、ピクトグラムの周知と魅力を発信する
- ピクトグラムを自ら作成し、ピクトグラムの目的についてみんなで考える

3、実施予定日時

○令和5年11月3日(金・祝)、参加費は無料、北九州市の子どもたち30人を対象

4、実施予定場所

○北九州まなびとESDステーション

5、当日スケジュール

11:00 準備(スタッフのみ)

12:30 受付開始

13:00 イベント開始、アイスブレイク、**ピクトグラムの定義・例の紹介(スライドを用意)**をした後、実際にまちに出てピクトグラムを探す

14:00 グループワーク開始

①まちで見つけたピクトグラムをよりわかりやすいデザインにしよう！ (既存のピクトグラムの改善案を考える)

ex. エレベーターに車いすのピクトグラムがある際、車いす専用に見えてしまう。障がい者の方全般が利用可能であることを表すデザインを考える。

②各個人がまちに出て感じた、ここにあったらいいなと思うピクトグラムを作成する

15:00 作成したピクトグラムのデザインだけを見て、何を指すピクトグラムなのかを当てるゲーム(各班で発表→各班1人が全体で発表)

15:40 **まとめ**、感想発表、写真撮影、アンケート

16:00 イベント終了、片付け、撤退

6、準備物・予算

○画用紙40枚(30枚+10枚予備)、カラーペンセット4ケース、パソコン、HDMI、机、椅子、名札、参加者名簿、アンケート、メモ用紙

○画用紙400円 計400円

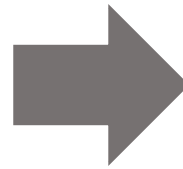


【グループワーク①】

まちで見つけたピクトグラムをよりわかりやすいデザインにしよう！
(既存のピクトグラムの改善案を考える)

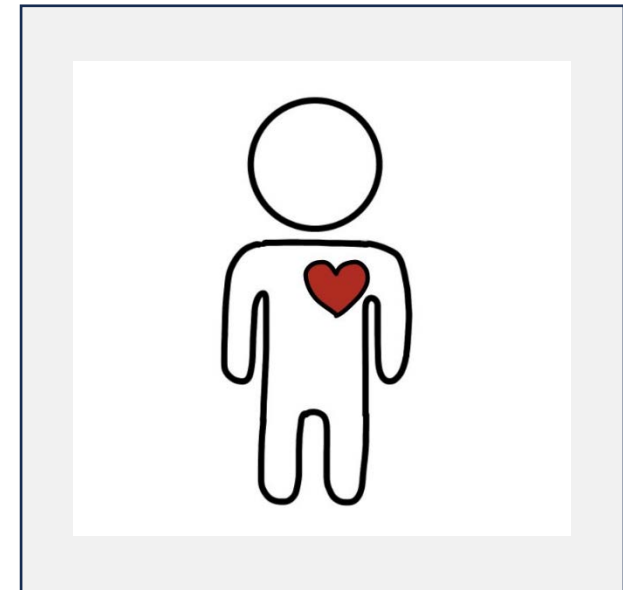
車いすマーク

『障害をもつ人々が利用できる建築物や施設であることを示す』
(引用：日本障がい者リハビリテーション協会)



改善案

- ・車いす利用者専用ではないということ
- ・心のバリアフリーの認知を広めたい



【グループワーク②】

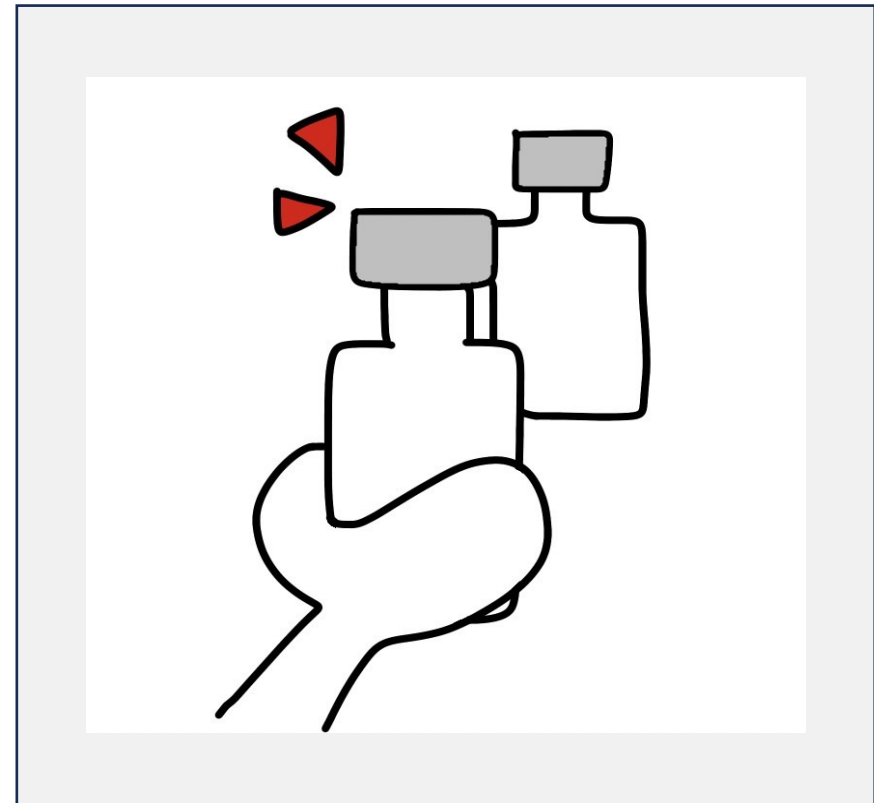
各個人がまちに出て感じた、**ここにあったらいいな**と思うピクトグラムを作成する

新しい案

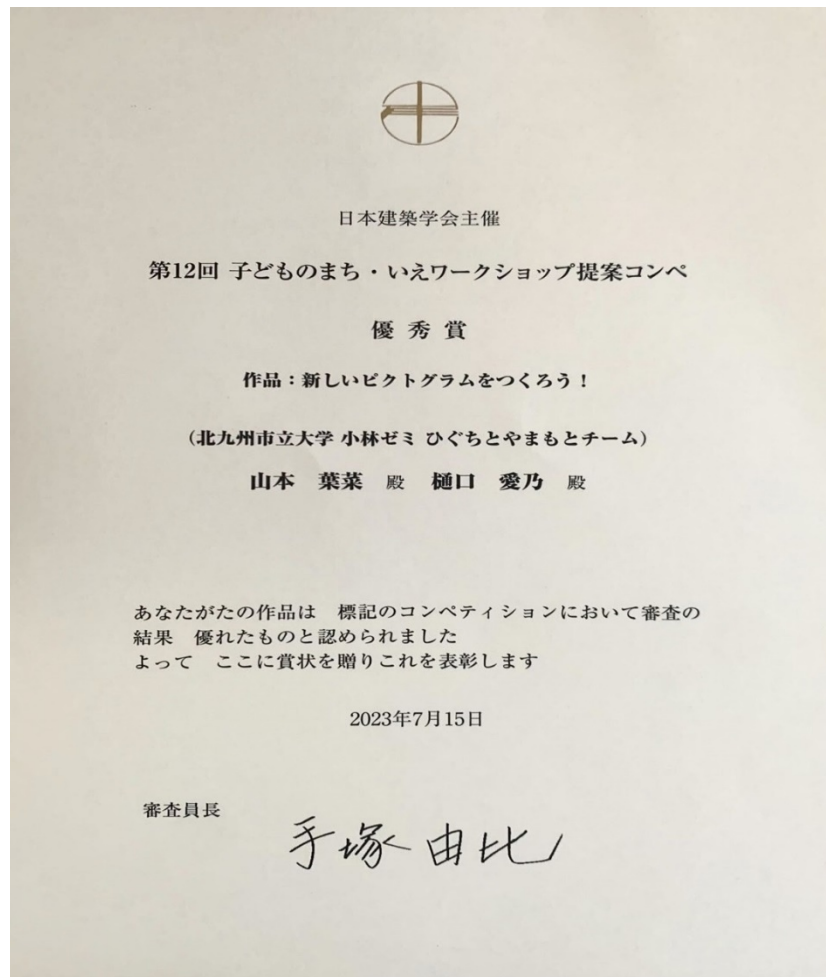
「前から取ろう！」のピクトグラム

〈目的〉

商品を手前から取るように促し、食品ロスを削減する



“優秀賞” をいただきました

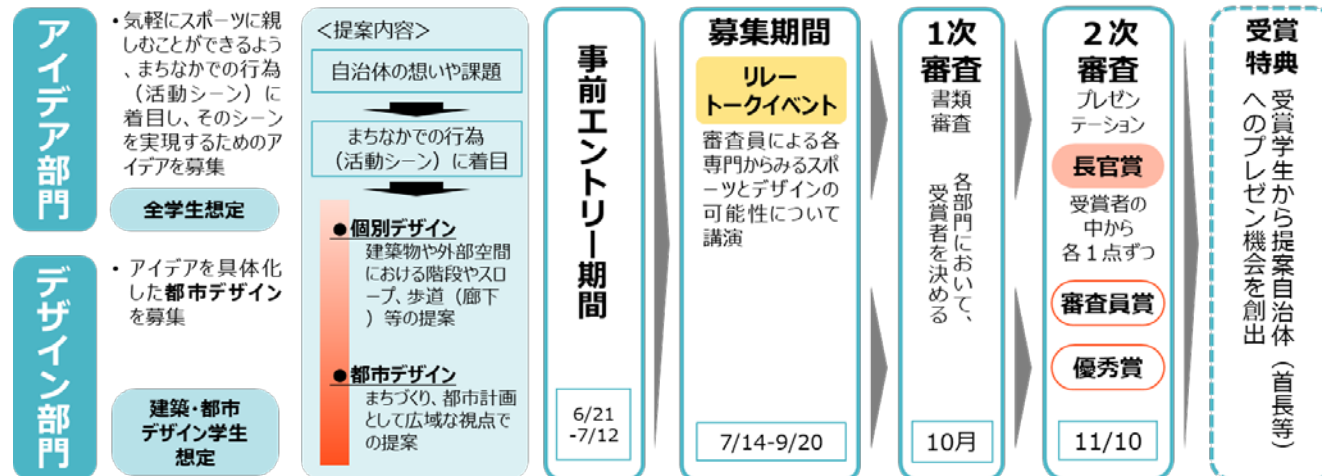


小林ゼミ活動報告①

スポーツ・健康まちづくりデザイン
学生コンペティション2023

- 主催 スポーツ庁
- 概要 気軽にスポーツに親しむことができるよう、まちなかでの行為（活動シーン）に着目し、そのシーンを実現するためのアイデアを提案

- 応募期間 7月14日～9月20日 2次審査 11月10日
- 応募数 94点中10組2次審査進出



発表内容



運動するために

コケライク!

～歩行空間と低未利用地の改革提案～

私たちが取り上げた舞台は…



ここだよ!!!



福岡県北九州市小倉駅周辺

小倉駅周辺の都市空間の特徴・課題

駐車場が多い

※赤で塗られている部分が駐車場



写真：勝山公園



規制が厳しい公園が多い

写真：小倉駅18時ごろ



広い歩行空間が多い

北九州市民の運動や健康についての実態・課題

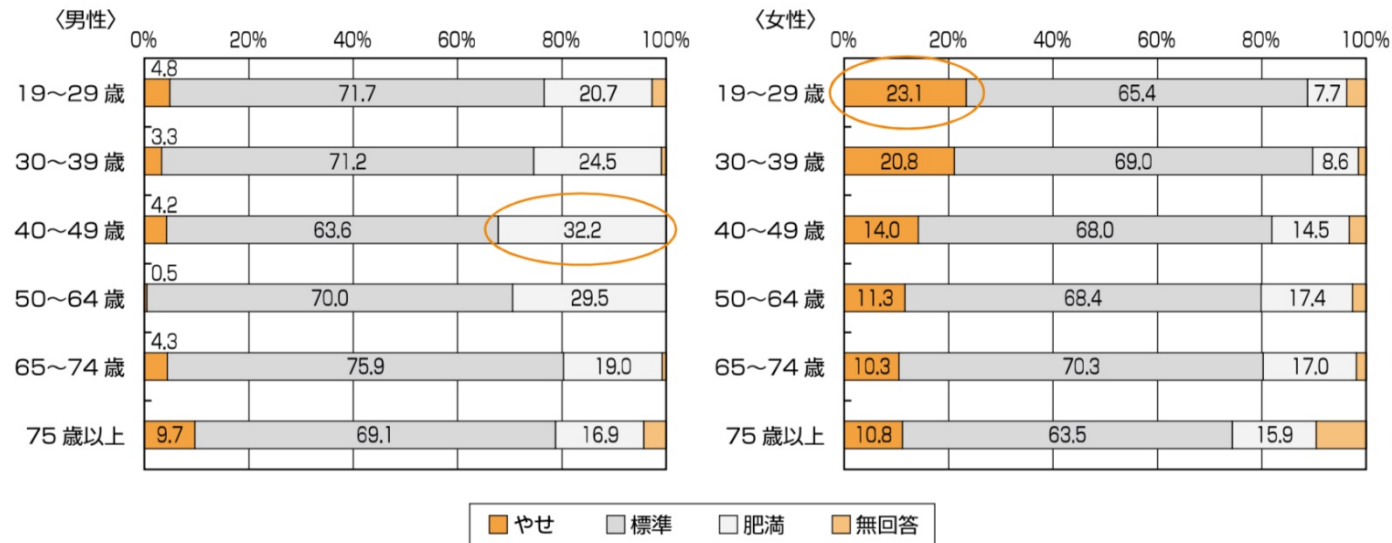
【健康状況】

- ・男性は肥満であると認識している人が多い。
- ・女性は若い人を中心に痩せていると認識している人が多く、年齢が高くなると肥満と認識している人も増える



- ・肥満は、生活習慣病の増加につながる可能性が高い。
- ・やせていると糖尿病の発症リスクが高い

⇒生活習慣病の方やその予備軍が多い

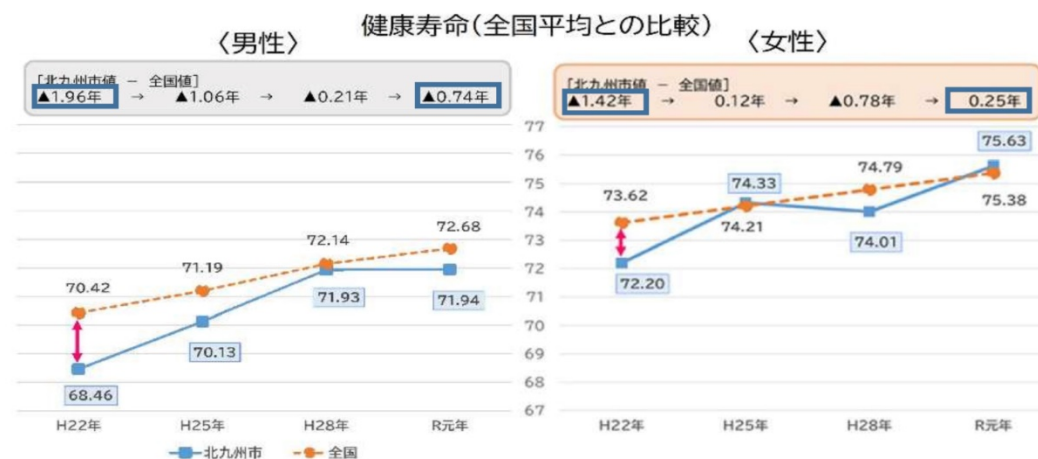
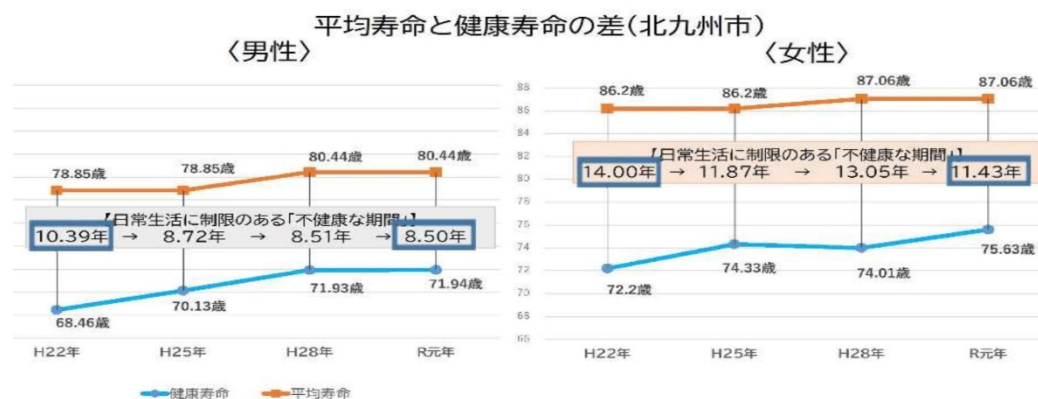


出典:2016年度北九州市健康づくり実態調査

北九州市民の運動や健康についての実態と課題

【健康寿命】

- ・平均寿命と健康寿命に10年程度の大きな差がある
- ・健康寿命は全国と比較するとやや低い傾向にある

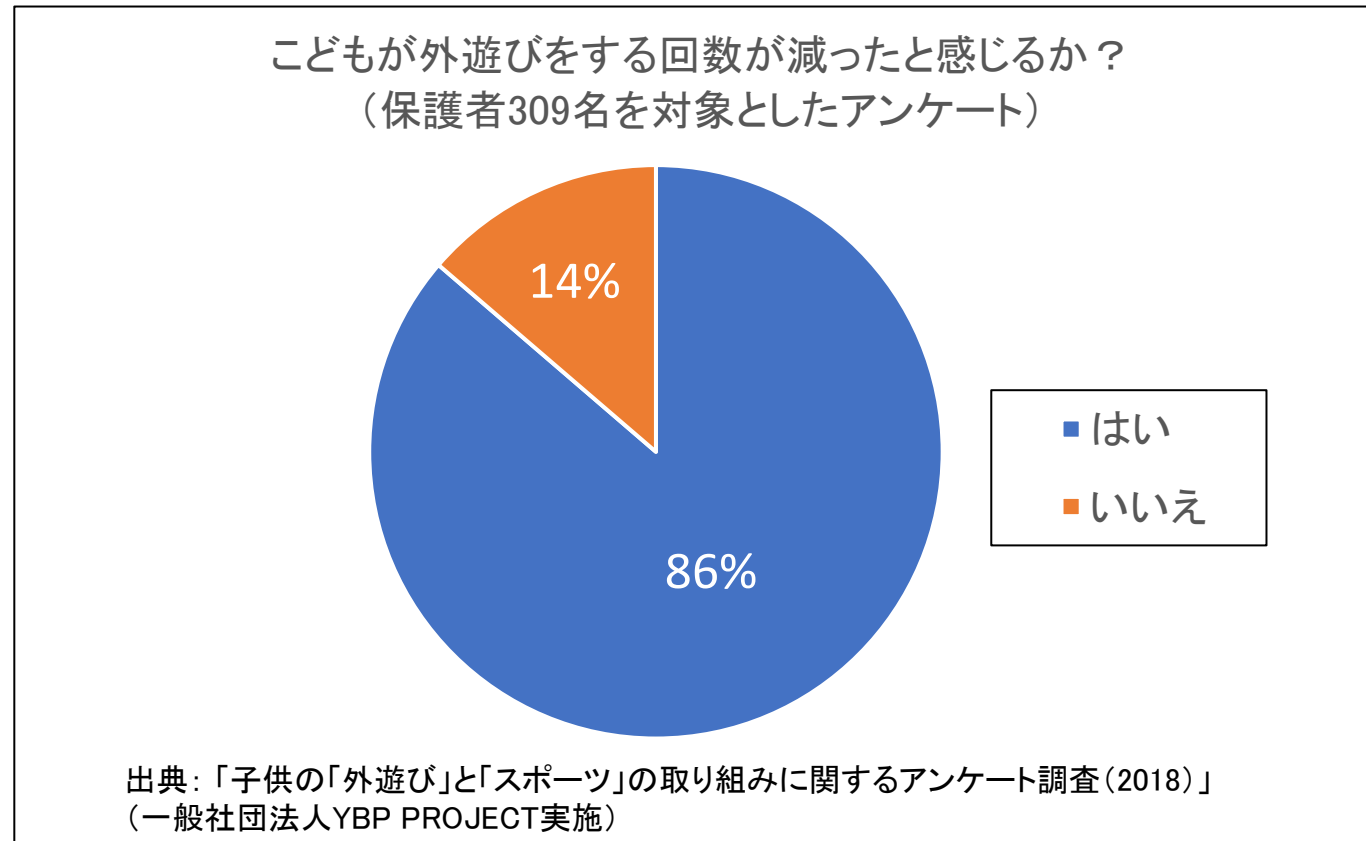


出典: 2022年度北九州市健康づくり及び食事に関する実態調査

北九州市民の運動や健康についての実態・課題

【子どもの外遊び】

- ・子どもの外遊びが全国的に減っている
→北九州市も同様な傾向にあると考えられる

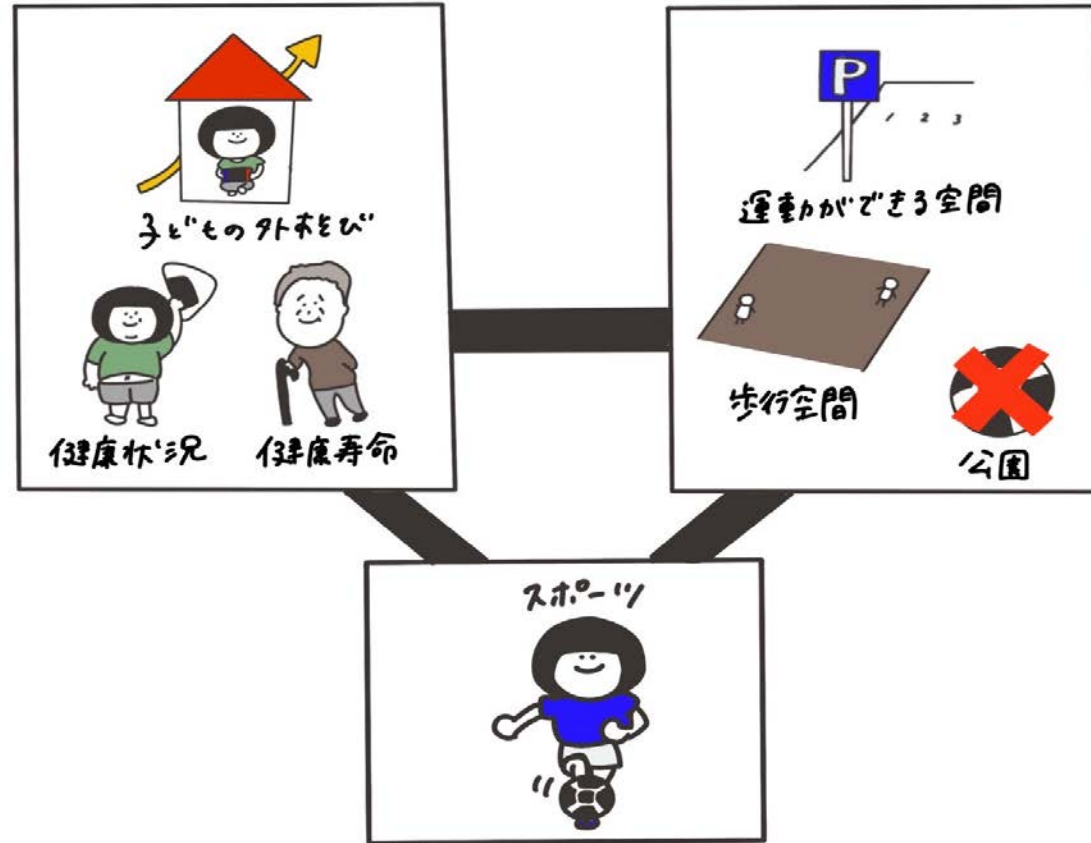


提案内容

スポーツ・健康まちづくりの方向性

運動や健康に関する課題

小倉駅周辺の都市空間の特徴



運動や健康に関する課題と小倉駅周辺の都市空間の特徴にスポーツの要素を組み合わせることでこれらの問題を解決することができると思う

●ぱーく ing

< before >



< after >



活用の一例：

地面が土や芝生である一般的な公園とは違いアスファルトであることを利用し、バスケットボールなどのフィールドとして最適な環境を提供

●ぱーく ing

詳細

イベント等が行われていない時の施設の駐車場など、利用率が低い駐車場等の低未利用地を活用

効果

ボール遊び禁止など、禁止事項が多い公園が多いなかで、さまざまなスポーツ、遊びができる空間を提供し、多様な世代が気軽に体を動かすことができる

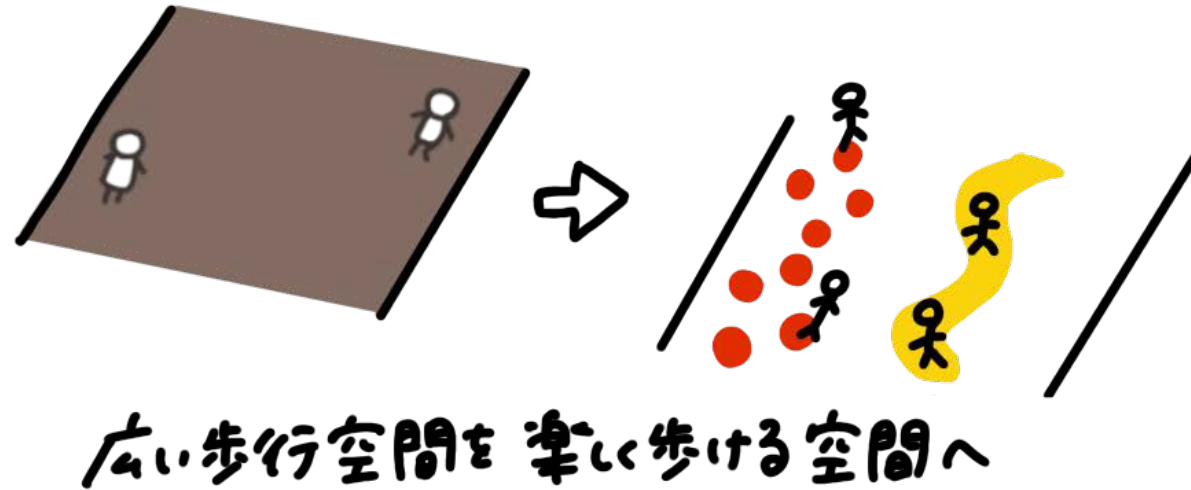


● ぱーく ing



※許可を得て公共施設の駐車場を実験的に活用

● ちょいスポ

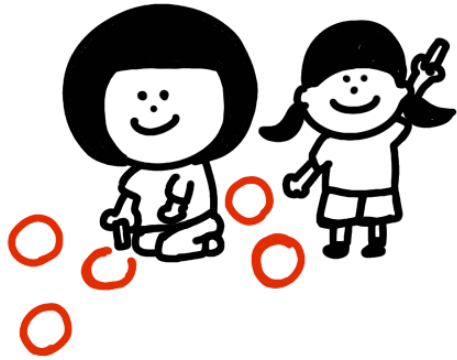


けんけんぱ、うねうね道など、つい歩きたくなるような歩行空間をデザイン

● ちょいスポ

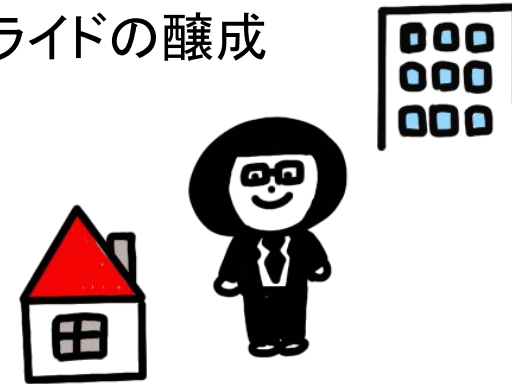
詳細

ペDESTリアンデッキなどの広い歩行空間に地域の方々と地面にけんけんぱなど歩行空間を楽しくするための絵を描く



効果

- ・歩行空間を歩く人たちに、自然と楽しく日常的に運動をしてもらえる
- ・働いている世代の運動不足解消にもつながる
- ・楽しく歩ける歩行空間が形成されることにより、歩行距離を延ばすことも期待できる
- ・市民参加で歩行空間をデザインすることによるシビックプライドの醸成

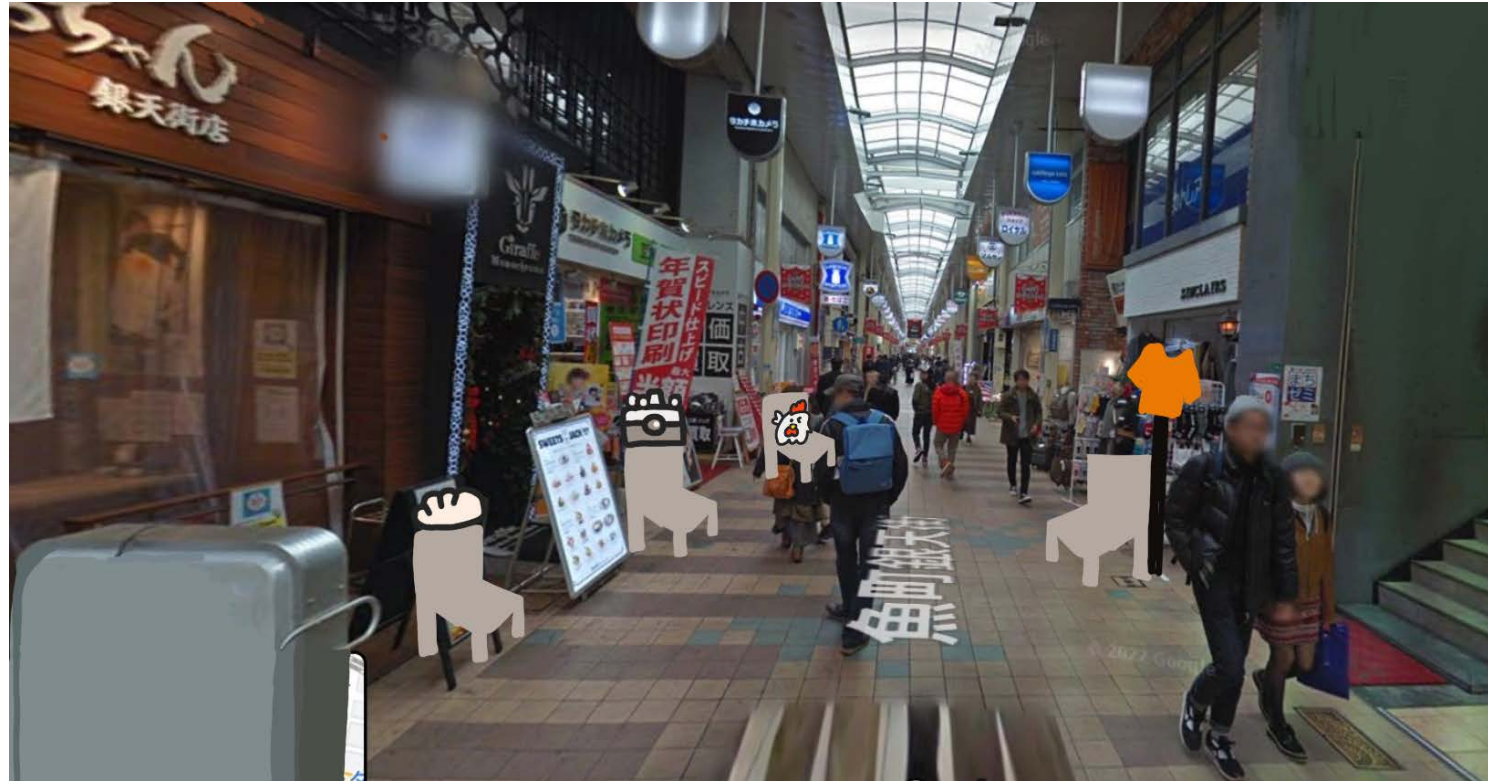


●ちよいスポ



※許可を得て歩道空間にけんけんぱを実験的に設置

● シェアチェア



商店街の店先に各店舗ひとつ椅子を置き
休むことのできる取り組み

● シェアチェア

詳細

商店街などで、各店舗の店頭
に椅子を設置してもらう



効果

- ・歩行空間に座って休める環境を作ることによって来街者の歩行距離を伸ばすことができる
- ・商店主や居住者と来街者の交流やコミュニケーションの場の創出も期待できる
- ・商店街の場合、各店舗に関連した装飾を施した椅子の設置等によって商店街の魅力アップにもつながる

●まとめ

3つの取り組みにより



楽しく気軽に運動ができる空間を作ることができる

2次的効果として

生活習慣病の抑制や健康寿命の延伸にも繋がると考える
また、楽しい都市空間をデザインすることでシビックプライド
の醸成やコミュニティの形成等も期待できると考える



学生コンペ
実行委員

学生コンペ
実行委員

VAIO

結果

優秀賞

久野譜也審査員賞



